

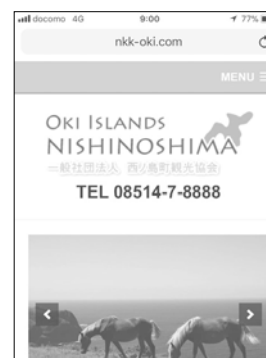
観光と情報について

今から20年程前、旅行といえば、時刻表やパンフレットとにらめっこが当たり前でした。それが1995年からパソコンとインターネットが連動し、ホームページと電子メールが使用される時代となり、旅行をする際にもそれらを使うことが多くなってきました。

西ノ島町観光協会でも約2年前から小さな画面のスマートフォン用ホームページを作成しました。(http://nkk-oki.com/japan/) 全体を一覧するには画面の広いパソコン用ホームページの方が楽ですが、旅行中にパソコンを持参する機会は少なく、どうしてもスマートフォンに頼ってしまいます。そういう意味で観光協会のホームページはスマートフォン用に力を注いで来しました。

また、隠岐島の観光インフラは船便に依存することが多いため、船の時刻表だけを抜き出して統合した専用アプリケーション(ソフト)を作っていただきました。

このソフトは、本土と隠岐島を結ぶ隠岐汽船のダイヤと、島前3島を結ぶ内航船「どうぜん」・「いそかぜ」のダイヤを統合したものです。観光客だけでなく、頻繁に船を利用する隠岐住民にとっても、とても便利なものなのでぜひ使用してみてください(PC用、iPhone・iPad用、Android用があります)。



▲観光協会 HP

■隠岐航路案内(フェリー・内航船時刻表アプリ)について

以下のQRコードより、無料でダウンロードできます。

○ iPhone・iPad 用

○ Android 用



船名	別府(西ノ島町)	豊浦(海士町)
フェリーどうぜん(内航船)	7:50	8:02
いそかぜ(内航船)	8:23	8:30
フェリーどうぜん(内航船)	8:40	8:52
いそかぜ(内航船)	9:18	9:25
いそかぜ(内航船)	10:05	10:12

▲アプリ

※PC用 http://naturebot-lab.com/ferry_transit/ でご利用できます。

発見! 西ノ島の自然の魅力 Vol.26 『雪の日の鳥』

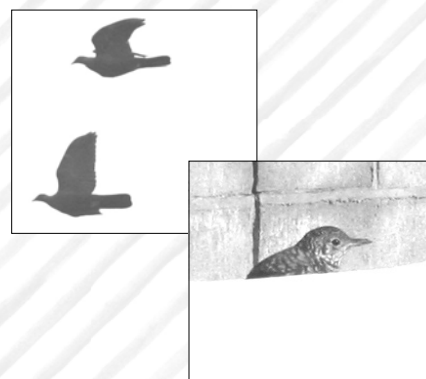
2月5日(月)から続いた大雪はすごかったですね。皆さんも大変だったのではないのでしょうか?

でも、そんな雪の日、鳥たちの動きにちょっと異変がありました。

まず、目についたのはカラスバト。国の天然記念物であり、普段はまずお目にかかれないのですが、焼火山や見附島、島根鼻など多くの場所で飛んでいる姿が何度も見られました。

また、トラ柄が特徴のトラツグミや冬にしか見られないシロハラ、黄色の顔とトサカのような羽毛が特徴のミヤマホオジロなど、あまり開けたところに出てこない鳥たちがあちこちに出てきていたのです。

これらの鳥に共通するのは、主に地面で植物の種や虫などを餌としていることです。雪の日によく観察されたのは、おそらく積雪した影響で食べ物にありつけず、広範囲を探し回っていたからなのでしょう。食べ物と密接に関係している彼らの生活を垣間見た雪の日でした。



▲焼火山上空のカラスバト(上)、雪の中のトラツグミ(下)

海藻専門家の一口メモ



岡部株式会社応用藻類学研究所 林さん
株式会社ノア隠岐 山谷さん

今回は「アカモク」を紹介します。先月号で紹介した褐藻類（コンブ、ワカメ、アラメ、ヒジキなど）のホンダワラの仲間の1種で、隠岐では「ハナタレ」とも呼ばれている海藻です。

西ノ島では沿岸に近い水深5～10m以浅に大きい群落を形成して海面を覆う状態に生長しています。

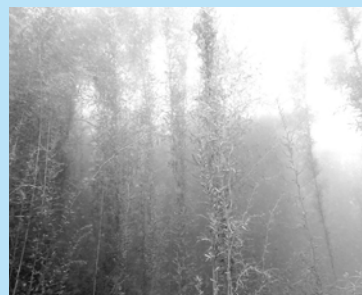
全国的に船のスクリュウに絡まって邪魔な海藻として扱われていました。

しかし、最近では健康に良い成分が含まれることから食品利用されており、**隠岐の島町や海士町の商品も流通しています。**

2～3月頃には大きく生長（5m以上）した藻体の先端に生殖器床と呼ばれる「種」を作る器官が形成されます。この部分に“ぬるぬる”成分が垂れる様になるところから、「ハナタレ」と呼ばれていると思われます。この部分を湯通しして細かく刻むと“ねばねば”が強く、美味しく食べられます。そう言えば、町内の飲食店でラーメンにアカモクがトッピングされていますね。

注目されている海藻成分は「フコイダン」、「フコキサンチン」で、その含有量が褐藻類の中で多いとされています。「フコイダン」は食物繊維で腸内環境を整える他に免疫力向上など、「フコキサンチン」は脂肪燃焼などのダイエットに効果が期待できると言われています。

4～5月頃には沿岸から大量に海藻が流出します。この時期には「種」を放出して来年の種苗となります。また、沖合いに流れ出て「流れ藻」となり、様々な魚の産卵場や稚魚の生育場や回遊魚の餌場などを提供します。日本海を海流にのり北上しながら一生を終えるドラマチックな生物との関わりがある海藻で、日本海の豊かな資源を支える重要な役割を担っています。



コミュニティ図書館
通信
vol.3

2月は何十年ぶりかの大雪で、出かけるのも大変な日が続きました。工事現場も、雪かき雪おろしをしながら作業してくださったおかげで、壁もずいぶん出来上がりました。いよいよラストスパートというところです。春の完成が楽しみです。

■ “いかあ屋”の「くつ箱」をみんなでつくりませんか？
～縁側カフェのお知らせ～

コミュニティ図書館は、図書館部分とコミュニティ部分の間に土間があります。各部屋には、靴を脱いで入るようになります。そこで、3月の縁側カフェは、みなさんの靴を入れる「くつ箱作り」のワークショップを行います。

◎3月18日(日)午後、場所は中学校技術室で行います。詳しくは、タブレット等をご覧ください。たくさんの方の参加をお待ちしています。



■「1人1冊プロジェクト」にご協力をお願いします！

回覧板でもお知らせしていますように、図書館にみなさんが選んだ本が並びます。リクエストも少しずつ集まっています。3月15日(木)が締め切りとなっていますので、よろしくお願いいたします。

「書名」「著者名」と、お名前、連絡先を、ファックス、メール、電話でも受け付けています。メモ用紙等を、直接、公民館に持ってきていただいても結構です。

[illegible]